



女性ならではの視点で提案 コロナ禍でもポジティブに

一点物ばかりのおしゃれマスク展

昨年6月に駅前総合案内所で「布あそび こっとんくらぶ」(たんぼぼくらぶメンバー有志)による「おしゃれマスク展」を開催しました。会場には一般的なプリーツマスクのほかに、テレビに登場する政治家がつけているのと同じ型の大臣マスクなど3種類、サイズもふつうサイズ、子ども用など合わせて約250枚が展示されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、不織布マスクが品薄になったり、ステイホームなど自粛生活が長引いたりする中、「マスクでもおしゃれは楽しめる」と「一点物」にこだわって作った布マスクを持ち寄った展示即売会です。

マスクの品薄がニュースになる中、手芸が大好きなメンバーたちは自分や家族の分の布マスクを手づくりするうちに、女性ならではの視点で、マスクをファッションのポイントにして楽しむことを着想しました。

困難な状況をポジティブに乗り切る提案のマスク展はメディアにも取り上げられ、驚きの反響を呼びました。当初の目標として100枚のマスクを展示していましたが、会場から「商品がなくなる」と連絡を受けては作って持参し、400枚以上のマスクを作り、ほとんど売れてしまうほどの人気でした。



少人数で励まし合いながら自粛中(取材時)



イベントなどで布あそびの成果品を展示



「みんな元気に」の願いを込めたイルミネーションの活動もしていました(東日本大震災以降は中止しています)

が義務にならないよう自治会の各種団体にはなっついていません。青春18切符で旅行をしたり、クリスマス会を開いたり「楽しい」を追求しながら、夏祭りなど自治会行事の協力もします。その中の、特に手芸好きな仲間が集まって、平成25年に「たんぼぼくらぶ」が誕生しました。メンバーは2つのクラブで活動を楽しく、仲間の絆と地域力を高めています。

楽しいから生まれた絆 絆から生まれたまちの力

サークルの発足から8年。地域の絆から生まれた「たんぼぼくらぶ」なので、その活動も手芸だけに留まりません。

例えば、阪神・淡路大震災をきっかけに、冬になると見る人を元気づけようと家々で美しいイルミネーションを飾るようになり、その美しさは近隣で有名になって、たくさんの人が見に来てくれました。しかし、その後、東日本大震災をきっかけに「そんな場合ではないね」と止めることになりました。

藤原さんの自宅にお邪魔した取材の時、お菓子作りの得意な仲間が手づくりのスイーツを差し入れ。マスクとステイホームの中でも笑顔を交わしていました。

「たんぼぼくらぶ」の代表を務める藤原さんと西井さんは「大鳥団地には、楽しいから生まれた絆があり、信頼できる人たちがある。それぞれ得意な技や知恵があつて普段から何気なく助け合える仲間がいる。本当に良いまちだと思います」と話していました。



大鳥自治会館に集まって手芸を楽しむたんぼぼくらぶの様子(現在自粛中)

絆って“楽しい”から生まれるの

手芸サークル たんぼぼくらぶ

「近所の手芸仲間がミシン持参で自治会館に集まって「布あそび」を楽しんでいます。新型コロナウイルス感染症の影響でサークル活動は自粛中ですが、育んできた絆は健在。仲間が励ましあつて活動再開を心待ちにしています。

「近所さんの手芸サークル活動自粛でも励まし合って

「たんぼぼくらぶ」は、大鳥自治会館を拠点に近所の主婦が活動している手芸サークルです。月2回、ミシン持参で集まって、カバンや洋服などを作っています。

春とクリスマスシーズン2回、メンバー有志が「布あそび こっとんくらぶ」として、駅前総合案内所で展示即売会も開いています。それをきっかけに「もりやまいち」や「冬ホテル点灯式」など、さまざまなイベントに声をかけてもらって展示即売会を開くようになりました。

材料代程度ではありませんが、「自分の作品を買ってくれる人がいる」というだけで大きな喜びになるといいます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今は自治会館に集まることは自粛していますが、15人のメンバーは「一日でも早

く新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、仲間と作品を見せ合い、刺激し合い、教え合いたいね」と励まし合いながら、ステイホームでそれぞれ手芸作品を作っています。

子ども会から青春18クラブさらに手芸好きが集まった

大鳥自治会(団地)は、約35年前にできた新興住宅街です。「たんぼぼくらぶ」の仲間の多くは、そのころ住民になった同年代の主婦です。子ども会で顔なじみになりましたが、子どもが成長して中学生になると、集まることもなくなっていました。

それを寂しく思った藤原晶子さんと西井富美子さんが発起人となって、大鳥団地の住人なら誰でも歓迎の任意団体「青春18クラブ」を立ち上げました。

高齢の人やフルタイムで仕事をしている主婦など、ライフスタイルは個々に違うので、活動